

教科名	科目名（校内名称）	単位数	授業担当者名	教材
iC 探究カリキュラム	iC 情報データサイエンス	2		教科書：高等学校 情報 I（大修館） 副教材：学習ノート（大修館）

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物事を筋道立てて考え、根拠を示しながら意見を述べることで論理的思考力を身に付ける</li> <li>○ データを適切に取り扱うことや、コンピュータを活用して情報を表現することによって情報分析活用力を身に付ける。</li> </ul>
--------	---

授業担当者からのメッセージ	<p>【主体的・対話的で深い学びの視点】 学んだことを活用して自分の意見を述べるように授業に臨んでください。 授業ではペアワークやグループワークを積極的に取り入れていきます。</p> <p>【授業担当者からのアドバイス等】 i コンピテンシーの「情報分析活用力」、「論理的思考力」、「決断実行力」の育成を目指します。 論理的に考えることと情報技術を活用することは日常生活でも必要なことです。慣れないうちは難しく感じるかもしれませんが、だんだんとできるようになっていきますので、しっかりと考えて実行することを意識しながら授業に取り組んでください。</p>
---------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価の基本的な考え方	A 十分満足できる	<p>情報の特性を理解し、問題の発見や解決に活用することができる。</p> <p>情報デザインの考え方について理解し活用することができる。</p> <p>プログラミングの構造を理解してプログラムを作成することができる。</p> <p>データの収集、整理、詳細な分析を行うことができる。</p>	<p>物事を順序立てて考えることや、問題を解決する具体的な方法について考えることができる。</p> <p>情報デザインの考え方や方法に基づいて論理的に物事を表現することができる。</p> <p>アルゴリズムをプログラムで表現することができる。</p> <p>データの分析結果を適切に表現することができる。</p>	<p>論理的な考察を主体的に行うことができる。</p> <p>アルゴリズムの流れやプログラムの構造を考えて表現することができる。</p> <p>データの収集、整理、分析に取り組み、評価・改善を行うことができる。</p>
	B おおむね満足できる	<p>情報の特性を理解している。</p> <p>情報デザインの考え方について理解している。</p> <p>プログラミングを行うことができる。</p> <p>データの収集、整理、分析を行うことができる。</p>	<p>物事を順序立てて考えることや、問題を解決する方法について考えることができる。</p> <p>情報デザインの考え方や方法に基づいて物事を表現することができる。</p> <p>アルゴリズムをフローチャートで表現することができる。</p> <p>データの分析結果を表現することができる。</p>	<p>論理的な考察を主体的に行うことができる。</p> <p>アルゴリズムの流れやプログラムの構造について考えることができる。</p> <p>データの収集、整理、分析に取り組みることができる。</p>
	C 努力を要する	<p>情報の特性をもとにした問題解決の手法等について理解していない。</p> <p>データの収集はできても分析を行うことができない。</p>	<p>意見を述べることはできるが物事を順序立てて考えることができない。</p> <p>データの分析結果を適切に表現することができない。</p>	<p>論理的な考察を主体的に行うことができない。</p> <p>データの収集、整理、分析に取り組みることができない。</p>
育てたい生徒像（資質・能力）との関連	<p>情報分析活用力</p> <p>論理的思考力</p> <p>決断実行力</p>	<p>情報分析活用力</p> <p>論理的思考力</p> <p>決断実行力</p>	<p>情報分析活用力</p> <p>論理的思考力</p> <p>決断実行力</p>	
主な評価方法	ワークシート、レポート課題、定期考査等	ワークシート、レポート課題、定期考査等	ワークシート、レポート課題等	

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標
1学期	情報とメディアの特性	<p>知:情報とメディアの特性について理解し、活用の仕方を考えることができる。</p> <p>思:情報とメディアの特性における社会への影響について考えることができる。</p> <p>主:情報とメディアの特性についての考察を主体的にしようとしている。</p>
	個人情報と知的財産権	<p>知:個人情報に関する法規と知的財産権について理解することができる。</p> <p>思:法規の仕組みについて表現することができる。</p> <p>主:法規について粘り強く考えようとしている。</p>
	情報デザイン	<p>知:情報デザインの考え方や方法を理解し論理的に表現することができる。</p> <p>思:情報デザインの考え方や方法に基づいて論理的に物事を表現することができる。</p> <p>主:論理的に表現するために試行錯誤をしながら粘り強く考えようとしている。</p>
	アルゴリズムとプログラミング	<p>知:アルゴリズムとフローチャートについて理解し、プログラミング技能を身につけている。</p> <p>思:目的に応じたアルゴリズムを考えてフローチャートを作成し、プログラムで表現することができる。</p> <p>主:アルゴリズムの流れやプログラムの構造について試行錯誤をしながら粘り強く考えようとしている。</p>
1学期・2学期	デジタル化とコンピュータの構成	<p>知:デジタル化の仕組みやコンピュータの構成について理解することができる。</p> <p>思:デジタル化の仕組みやコンピュータの仕組みを順序立てて説明することができる。</p> <p>主:デジタル化やコンピュータの仕組みについて主体的に考えようとしている。</p>
2学期・3学期	ネットワークとセキュリティ	<p>知:ネットワークやセキュリティの仕組みについて理解することができる。</p> <p>思:ネットワークやセキュリティの仕組みや構成を順序立てて説明することができる。</p> <p>主:ネットワークやセキュリティの仕組みについて主体的に考えようとしている。</p>
	問題解決力	<p>知:情報の特性を理解し、情報技術等を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。</p> <p>思:目的や状況に応じて、情報技術等を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。</p> <p>主:情報技術等を適切かつ効果的に活用して試行錯誤をしながら粘り強く考えようとしている。</p>

3 学 期	データの分析	<p data-bbox="587 181 1241 215">知: データを分析する方法について理解し、活用することができる。</p> <p data-bbox="587 255 1150 288">思: データを分析し、その結果から考察することができる。</p> <p data-bbox="587 329 1283 362">主: データの分析に粘り強く取り組み、よりよい分析をしようとしている。</p>
備考		